

年間授業計画 令和5年度 教科( 情報 ) 科目( 情報の科学 )  
 教科:( 情報 )科目:( 情報の科学 ) 対象:( 第 3 学年 ) 単位数:( 2 単位 )

教科担当者: 小林 翠 ( @ )

使用教科書: 東京書籍 情報の科学

使用教材 : なし

指導内容 【年間授業計画】	科目情報の科学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 コンピュータの仕組みと働き	コンピュータにおける情報のあらし方を理解し、情報の処理を実践する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用の方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	12
5月			
6月 画像と音の表現 文書処理ソフトウェアの使い方 (検定対策)	コンピュータにおける画像や音の操作の基本を身につける。 諸活動の中で文章情報の重要性を理解させ、文書作成ソフトを使用して文書作成の基本を理解させる。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用の方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	14
7月			
9月 データベース	データベースの知識を身につけ情報検索を実践する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用の方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	8
10月 データベース	データベースの知識を身につけ情報検索を実践する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用の方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	8
11月 問題解決とコンピュータの活用 文書処理ソフトウェアの使い方 (検定対策)	問題解決の手段と手法を理解する。 モデル化の考え方について理解する。 諸活動の中で文章情報の重要性を理解させ、文書作成ソフトを使用して文書作成の基本を理解させる。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用の方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	18
12月			
1月 情報社会の科学的な理解	身近な生活の中の情報化の発展について理解する。 情報セキュリティについて理解する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用の方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	10
2月			
3月			